

第15回演習課題

第15回演習課題

- ▶ サンプルプログラム(kadai15.h, kadai15.cpp)を拡張し、以下の仕様を満たすプログラムを作成せよ
 - ▶ 未実装のハンド(ロイヤルストレートフラッシュ, フルハウス, フラッシュ, ストレート, ツーペア, ワンペア)を判定する
 - ▶ 独自の新しいハンドを1つ考案し, そのハンドを判定する

ある5枚のカードのハンドを正しく判定できても, **別の5枚のカードに対しそのハンドが判定できないバグ**(例: ♠3, ♣4, ♥5, ♦6, ♦7 はストレートと判定できるが, ♠10, ♣11, ♥12, ♦13, ♦1 はストレートと判定できない)も起こり得る

→ 各ハンドは**全ての入力に対して正しく判定できる**よう実装せよ

第15回演習課題

- ▶ 作成するプログラムは下記2つのソースファイルより構成されるものとする
 - ▶ Pokerクラスの宣言を記すヘッダファイル(ファイルの名前: kadai15-学籍番号.h)
 - ▶ kadai15.h 内のプログラムに対し, データメンバとメンバ関数の追加のみ可(追加しなくても題意を満たすプログラムは作成できる)
 - ▶ 上記ヘッダファイルに含まれるプログラム以外のプログラムを含むファイル(ファイルの名前: kadai15-学籍番号.cpp)
 - ▶ 題意を満たすプログラムになるよう, kadai15.cpp 内のプログラムを変更, 拡張することで作成せよ(変更, 拡張は自由に行ってよい)
 - ▶ kadai15-学籍番号.h をインクルードし, kadai15-学籍番号.cpp をコンパイルすることで本プログラムの実行ファイルが生成されるようにせよ

上記で許可したこと以外, サンプルプログラムの変更は不可とする
(ただし, コメント文(`// ...` や `/* ... */`)は全ファイルに自由に追加してよい)

提出に関して

▶ 提出するもの

▶ ソースファイル

- ▶ ファイルの名前は前ページまでのスライドで説明した通り
- ▶ ファイルの最初に学籍番号と氏名をコメントとして記入

- ▶ 考案した独自ハンドの説明, 講義や課題に関するコメントを記したファイル
 - ▶ テキストファイルか pdfファイルを提出
 - ▶ ファイルの名前はkadai15-学籍番号.txt または kadai15-学籍番号.pdf
 - ▶ ファイルの中に学籍番号と氏名を記入

全提出ファイルを1つのフォルダに格納し, そのフォルダを
zip圧縮したファイルを提出せよ

- ▶ フォルダ名: kadai15-学籍番号
- ▶ zip圧縮したファイル名: kadai15-学籍番号.zip ← このファイルを提出

提出に関して(続き)

▶ 提出期限

- ▶ 2024年7月31日(水) 23:59

▶ 提出方法

- ▶ 授業支援システムから提出

▶ 注意点

- ▶ Replit で g++ を使ってコンパイルの通らないものは採点しない(0点)
 - ▶ **kadai15-学籍番号.cpp から #include 命令を用いてインクルードするヘッダファイルの名前に注意せよ！(#include で指定するファイル名と提出されたヘッダファイルの名前が一致しなければ、コンパイルが通らない(0点)と扱う)**
- ▶ コンパイルに際し、コンパイルオプションを指定する等の特別な処理が必要な場合、その旨をソースファイルにコメントとして記載
(**コンパイルオプション指定の不備によりコンパイルができない場合、無条件でコンパイルができない(0点)と扱う**)
- ▶ 独自ハンドについては、考案した独自ハンドの説明を記したファイルの説明とプログラムの内容が一致しているかどうかで、実装の正誤を判断する
 - ▶ 考案した独自ハンドの説明が書かれていない場合、
- ▶ 5 その独自ハンドは実装できていないとみなす(正誤の判断ができない)